

こんな活動です

「子供たちと地域の大人がふれあう、安心・安全な居場所づくり」子供も大人も笑顔で楽しく！

愛知県半田市	●活動名	●関係する学校名
	半田市放課後子ども教室さくらっ子クラブ	半田市立さくら小学校

協働活動開始年度	平成 20 年度	学校運営協議会	指定・設置日	令和元年4月1日設置	地域学校協働本部	無
活動区分	学校支援活動	—	—	—	—	—
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	—	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	—	配置人数	2人
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無	無
参考URL	http://sakura-e.main.jp/					
●連絡先	半田市健康子ども部子育て支援課		☎ 0569-21-3111			



●活動の概要・経緯
半田市では現在、13ある小学校全てで放課後子ども教室を開設している。なかでも「さくらっ子クラブ」の歴史は2番目に古く、平成20年度に開設し現在に至っている。小学校の1・2年生を対象に定員25名の登録制で、校舎に併設している生涯学習施設を活動場所として、平日週2日、地域の方々にご協力いただき、放課後の安心・安全な居場所を提供し、様々な活動を通じて子供たちの成長を支えていただいている。活動内容は、ふれあいあそび、工作、紙芝居や絵本の読み聞かせ、体操教室や自由遊びと多岐にわたる。年に3回は外部講師を招いて様々な体験を提供している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

毎年、活動の中で地域の区民展に出品する作品を制作している。区民展では、地域の方々に子供たちの活動の一端を紹介するとともに、子供たちも保護者と自分の作品を見に行くことで、地域の一員として地域活動に参加することに対する自覚も芽生える。また、中心市街地のランドマークである商業ビルのイベントに協力し、参加児童全員で「ぬり絵作品」を制作し出品するなど、地域内の社会活動にも参加している。

【実施に当たっての工夫】

特に低学年の子供たちであるため、基本である挨拶やルールを守ることなどの指導から行っている。子供たちに集中することを身に付けさせるため、毎回活動の終盤には紙芝居や絵本の読み聞かせを行うことや、諺を覚えるゲームをさせるなど工夫している。また、参加する大人が楽しくなければ子供は楽しくないと、大人がそれぞれの得意なことを活かして参加できる工夫をしている。

【関係機関・団体等との連携状況】

自治区はもとより、保護司、民生児童委員を始め、様々な役割を持つ地域学校協働活動推進員や協働活動サポーターが属しているため、それぞれの団体との連携も図れている。また、同施設内にてNPO法人が放課後児童クラブを運営しており、一体型の取り組みとはしていないものの、保護者の希望により放課後児童クラブの登録児童も放課後子ども教室に参加できている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

単発のイベント的な実施ではなく、1年間の登録制で実施することで、子供たちと地域の大人との信頼関係が構築される。市内には中学校が5校あり、さくら小学校は半田中学校区に属するが、同中学校の地域ボランティア団体「半田中学校ちょボラの会」に所属している協働活動サポーターがいることもあり、同中学校の生徒で組織する「半田中学校街角ボランティア」と協働した活動も実施している。さくら小学校では、学校の側溝内の清掃(砂の除去)、運動場の石拾いや周辺の落ち葉の掃除を実施しているが、放課後子ども教室のOBやOGである生徒との再会し旧交を温めることがあるなど、子供の社会性を育てることにもつながっている。

● その他

登録制であるため年度当初の保護者説明会の開催から、年に数回保護者向けにお便りを発行するなど、顔の見える関係性も築いている。保護者から子育ての悩みを相談されることも度々あり、内容に応じた支援につなげる役割も果たしていただいている。

